

☆ 世 界

世界の繊維需要、6年連続で拡大…2014年

米国のFiber Organon誌が2014年の世界の繊維需要と化繊生産を発表した。同誌によると、繊維需要は前年比3.4%増、化繊生産(オレフィン繊維を除く)は同4.8%増と6年連続で増加しており、世界的にみた繊維市場は、依然、拡大が続いている。

1. 2014年の世界の繊維需要

2014年の世界の繊維需要は前年比3.4%増の9,197万トと6年連続で増加した。このうち化繊が4.3%増の6,653万ト、天然繊維が1.1%増の2,544万トといずれも増加した。

化繊の内訳はセルロース繊維が4.1%増の501万ト、合繊(オレフィン繊維除く)が4.8%増の5,661万トとなり、前年度より緩やかな伸びとなった。オレフィン繊維については1.4%減の491万トとなった。

一方、天然繊維は綿(コットン)は1.4%増の2,395万トと増加したものの、羊毛は4.7%減の110万トと減少に転じた。

表1. 世界の繊維需要

(1000ト、%)

品 種	2012	2013	2014	前年比
セルロース	4,282	4,813	5,011	4.1
合繊(オレフィン除く)	51,081	54,007	56,612	4.8
オレフィン	4,855	4,980	4,908	-1.4
化繊計	60,218	63,799	66,531	4.3
綿	23,081	23,622	23,951	1.4
羊毛	1,133	1,159	1,104	-4.7
絹	134	140	144	2.9
天然繊維計	24,591	25,167	25,440	1.1
総計	84,809	88,966	91,971	3.4

(出所) Fiber Organon、以下同様

(注) 化繊は生産、その他は消費統計に基づく

2. 地域別合繊生産

世界の合繊(オレフィン繊維を除く)生産量について、国・地域別で見ると中国は前年比6.1%増の3,926万トと増加し、世界全体に占めるシェア

アは前年の 68.3%から 69.4%と 1.1 ポイント拡大した。中国に次ぐ生産国のインドは 7.4%増の 401 万ト。シェアは 7.1%で、世界全体に占める両国シェアの合計は 76.5%と 4 分の 3 以上となった。

アジアでは ASEAN が 4.1%増、バングラデシュやパキスタンを含む「その他アジア」が 4.8%増と、いわゆるアジア新興国での生産が増加した一方、また、日本 (2.4%減)、韓国 (2.2%減)、台湾 (2.1%減) といった国々で減産傾向が続いている。

欧米では、西欧とトルコを加えた地域が 0.8%減、東欧・CIS が 4.5%減と欧州全体が減少したのに対し、米州は、米国がポリエステル的好調により 1.9%増、その他米州は 5.0%減となった。

表2. 世界の地域別合繊生産

国・地域	(1000ト、%)					
	2012	2013	2014	前年比	同増減	構成比
日本	609	596	582	-2.4	-15	1.0
中国	34,429	36,995	39,263	6.1	2,268	69.4
韓国	1,620	1,563	1,529	-2.2	-34	2.7
台湾	1,966	1,954	1,912	-2.1	-42	3.4
ASEAN	2,733	2,938	3,060	4.1	122	5.4
インド	3,589	3,730	4,005	7.4	275	7.1
その他アジア	621	640	670	4.8	31	1.2
西欧+トルコ	1,918	1,865	1,849	-0.8	-15	3.3
東欧・CIS	498	487	465	-4.5	-22	0.8
米国	1,898	1,988	2,026	1.9	38	3.6
その他米州	762	774	736	-5.0	-39	1.3
中東・アフリカ・オセアニア	438	478	517	8.2	39	0.9
世界計	51,081	54,007	56,612	4.8	2,605	100.0
中国以外の計	16,652	17,012	17,349	2.0	337	30.6

(注) オレフィンを含まない

3. 品種別合繊生産

オレフィンを含む合繊生産は 4.2%増の 6,152 万トとなった。主要品種については、ナイロン F が 5.0%増の 440 万ト、ポリエステル F が 7.5%増の 3,385 万トと長繊維が好調であった。一方、短繊維はポリエステル S がほぼ横ばい、アクリル S は 3.4%減、ナイロン S も 7.5%減となった。

オレフィンでは長繊維が 1.1%減の 431 万ト、短繊維が 4.4%減の 60 万トと、いずれも減少した。

表3. 世界の品種別合繊生産

(1000ト、%)

品種	2012	2013	2014	前年比
アクリルS	1,937	1,913	1,849	-3.4
ナイロンF	3,902	4,188	4,400	5.0
ナイロンS	164	164	152	-7.5
ポリエステルF	29,126	31,453	33,849	7.5
ポリエステルS	15,038	15,281	15,292	-0.0
オレフィンF	4,218	4,357	4,312	-1.1
オレフィンS	637	622	595	-4.4
その他	914	1,007	1,071	6.2
総計	55,936	58,986	61,519	4.2

4. セルロース繊維生産

セルロース繊維の生産は前年比 4.1%増の 501 万トと、4 年連続の増加となった。国・地域別では、中国が 5.6%増の 336 万トと前年に引き続き増加したほか、インドが 1.9%増、インドネシアが 0.5%増、また比較的規模は小さいながら台湾が 4.6%増となった。

品種別では、衣料・家庭用に使用される普通レーヨンF(キュプラを含む)が 0.2%増の 32 万トとほぼ横ばいとなり、タイヤコードなどで使用される強力レーヨンFは 9.1%減の 6 万トとなった。またレーヨンSは 4.9%増の 459 万トとなり、増加傾向が続いている。

表4. 世界のセルロース繊維生産

(1000ト、%)

国・地域	2013	2014	前年比	品種	2013	2014	前年比
日本	62	63	2.1	強力レーヨンF	66	60	-9.1
中国	3,177	3,355	5.6	普通レーヨンF	316	317	0.2
インド	413	421	1.9	アセテートF	50	41	-16.7
インドネシア	502	505	0.5	レーヨンS	4,381	4,594	4.9
台湾	119	125	4.6	計	4,812	5,012	4.1
タイ	80	113	41.3	(注)リヨセル繊維を含まない。			
西欧	406	403	-0.9	世界のリヨセル繊維の生産能力は年産22万ト。			
東欧・CIS	18	(推定、2015年3月時点)			
米国	26	25	-6.4				
その他米州	10	2	-79.4				
世界計	4,813	5,011	4.1				

5. オレフィン繊維生産

オレフィン繊維の生産は前年比 1.4%減の 491 万^ト。西欧は横ばい、トルコ(0.8%増)、中国(0.4%増)、その他アジア(1.5%増)は増加したが、その他の国・地域(米国(9.5%減)、日本(1.0%減)、中東・アフリカ・オセアニア(3.6%減)、その他の地域(3.1%減))は減少した。

品種別ではフィラメントが 1.5%減、ステープルが 4.3%減、スリット・フィルムファイバーは 0.7%減といずれも減少した。

表5. 世界のオレフィン繊維生産

(1000^ト、%)

国・地域	2013	2014	前年比	品種	2013	2014	前年比
西欧	561	561	0.0	フィラメント	1,731	1,705	-1.5
トルコ	634	639	0.8	ステープル	622	595	-4.3
米国	546	494	-9.5	スリット・フィルム	2,627	2,608	-0.7
日本	191	189	-1.0	計	4,980	4,908	-1.4
中国	903	907	0.4				
その他アジア	912	926	1.5				
中東・アフリカ・オセアニア	551	531	-3.6				
その他	682	661	-3.1				
世界計	4,980	4,908	-1.4				

以上